

# インドネシアの金利引き上げについて

2013年6月14日

インドネシア中銀は6月13日(現地時間)の政策決定会合で政策金利を0.25%引き上げて6.0%とする決定を行いました。政策金利の据え置きを予想する市場関係者が多い中、2011年2月以来の利上げが実施されました。

## 《政策金利引き上げの背景》

同中銀は利上げの理由として、インフレ期待を予防的に抑制するとともに、世界的に金融市場が不安定化する中で同国のマクロ経済と金融システムの安定化を保つためとしています。

また、同中銀はインドネシアのファンダメンタルズに沿った形でインドネシアルピアの為替レート安定化を図るとともに、為替市場へ適切な流動性供給を続ける意向を示しています。

## 《今後の見通し》

インドネシアの2013年4～6月期の経済成長率は世界景気が鈍化する中で、これまでの5.9%～6.1%という政府予想から下方修正される見込みです。

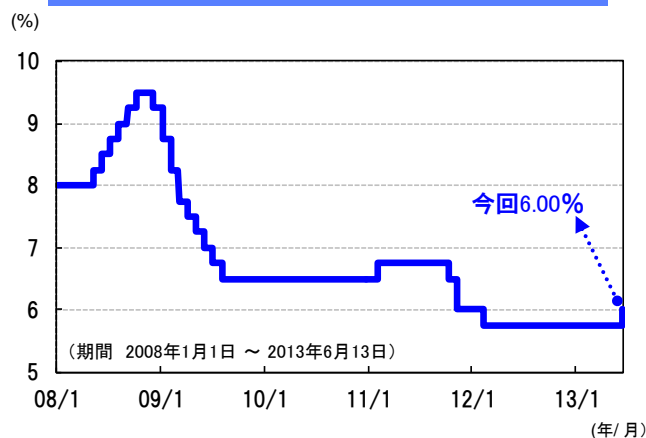
一方、国際収支は堅調な海外からの直接投資等を背景に改善が見込まれています。5月はFRBの金融緩和早期縮小観測を受けて新興国市場から資金を引き揚げる動きが活発となり、インドネシアルピアもその流れに抗うことはできず、対ドル、対円で為替レートは大幅に下落しました。

5月の消費者物価は対前年比+5.47%と落ち着きを示しているものの、今後燃料価格への政府補助金削減が予定されていることからインフレ期待が高まることが予想されています。

今回の利上げはこのようなインフレ期待を抑制し、インドネシアルピアへの信頼回復を狙ったものと考えられます。

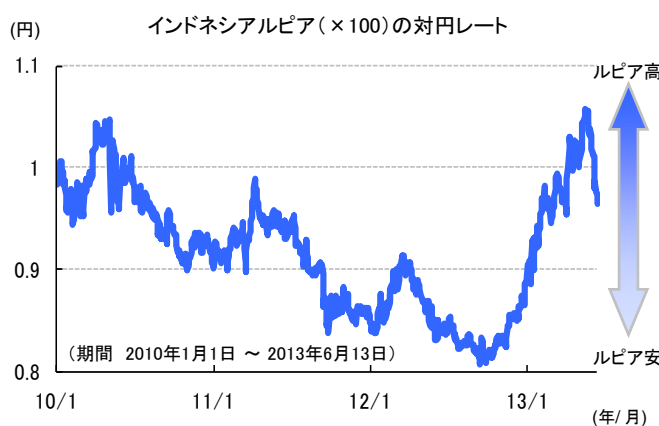
今後は燃料価格への政府補助金削減の影響を注視しつつ、必要に応じて対応をとっていくものと見込まれます。

## 《インドネシアの政策金利》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

## 《インドネシアルピアの対円推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。